



8月

ももぐみだより

赤保発第76号

平成29年8月18日(金)

記: 山下

毎日晴れ渡る青空の下、伸び伸びと過ごしている子どもたち。沢山遊んで、いっぱい食べて、そしてしっかりと休息を取りながら、体の変化に気を付けながら、暑い夏を元気に過ごしていきたいと思います。

☆夏ならではの遊び☆

夏ならではの遊びを楽しみました。朝会うと、「先生、プールバックもってきた」と教えてくれたり、「今日お外で」と尋ねたりし毎日とても楽しみにしているようでした。今日何をするか伝え、水着に着替えることを言うと喜んでプールバックを持ってきていました。「先生見て」と言い一周まわり見せてくれる子もいました。

○水遊び○

タライに水をためて遊びました。砂場のおもちゃやカップを使って水をすくって遊んでいる子や、保育者や友達と水をかけあったり、中には、草花に水をあげたりする子もいました。「気持ちいいね」とお話しする子もいました。



○氷遊び○

小さくて様々な形の氷を触って楽しみました。「冷たい」と大興奮の子どもたち。氷をよく見て「ミッキーみつけた」「カメもおる」「見せてー」等、子どもたちの間で会話も弾んでいました。



○色水遊び○

ペットボトルに入った色水で遊びました。「入れて」と言いながら嬉しそうにカップを渡す子や赤い色水を持ち、「いちごジュースやん」と言ったり、「かき氷で一す」と言って持ってくる子もいました。また、色んな色を混ぜて楽しんでいる姿も見られました。



○片栗粉遊び○

食紅で色を付けた片栗粉を水で溶き、遊びました。ドロツとした感触が気持ちよかったです。ずっと触っている子がほとんどでした。「先生見て」と嬉しそうに手についたものを見せてくれました。



○洗濯遊び○

戸外で洗濯遊びを楽しみました。洗濯板を使ってタオルをごしごしとこすり、その後はしっかり絞ってひもにかけ、洗濯ばさみでとめました。パンパンとしっかりたたいて干す子もおり大人がしていることをよく見ているなど改めて感じました。



☆初めてのはさみ☆

8月の制作で初めてはさみを使いました。初めてのはさみの体験は、子どもたちの小さな手で持つことは大変なようでした。「手をグーパーしてみて」と伝えるとはさみを持っている手と反対の手をグーパーとする子どももいれば、はさみの刃を閉じたり開けたりすると自分の口も一緒に開いたり閉じたりしていました。その様子に思わず笑ってしまいましたが、子どもたちはとても真剣でした。きれいな花火が完成し、あかまっこミュージアムに飾っています。



☆自分でやってみよう☆

水遊びやシャワーを通して「自分で着替えよう」という気持ちが強くなってきています。脱いだ洋服は自分のロッカーに入れたり、鞆の中から必要な洋服を出したりしました。ほとんどの子が出来るようになってきました。今までは午後になり着替える洋服を職員が準備していましたが、今後は午睡の後に自分で鞆から出し、準備することを保育者と一緒に行っていきます。

また、スプーンセットも「自分のもの」と分かり、大切に使う姿が見られます。机の上にスプーンセットを準備すると「これ〇〇ちゃんの」と言って席に着く姿もありました。今後は、子どもたちの鞆の中から給食前にスプーンセットを出したり、給食後自分たちで片付けたりする姿を温かく見守っていきたいと思っています。

☆おねがい☆

・子どもたちが自分たちで鞆の中から洋服や水着などを出しています。持ち物の記名をお願いします。またスプーンセットなど記名が薄くなっているものもありますので再度確認していただくをお願いします。